



2021年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月12日

上場会社名 フィンテック グローバル株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8789 URL <http://www.fgi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉井 信光
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 鷲本 晴吾 (TEL) 050-5864-3978
 上席執行役員
 四半期報告書提出予定日 2021年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第2四半期の連結業績(2020年10月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第2四半期	4,874	14.2	840	—	831	—	618	—
2020年9月期第2四半期	4,269	30.3	△495	—	△560	—	△581	—

(注) 包括利益 2021年9月期第2四半期 651百万円(—%) 2020年9月期第2四半期 △660百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第2四半期	3.07	3.07
2020年9月期第2四半期	△2.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年9月期第2四半期	17,430	7,800	39.1
2020年9月期	16,583	7,304	37.7

(参考) 自己資本 2021年9月期第2四半期 6,810百万円 2020年9月期 6,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年9月期	—	0.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	31.6	540	—	370	—	250	—	1.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期2Q	201,115,600株	2020年9月期	201,114,600株
② 期末自己株式数	2021年9月期2Q	一株	2020年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年9月期2Q	201,115,303株	2020年9月期2Q	201,113,146株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、投資銀行事業において、事業承継等のニーズに対応したプライベートエクイティ投資強化の方針のもと、案件の組成を推進しました。メツァについては、コロナ禍による来園者数減少に対応して費用を削減した収支均衡策を継続しております。来園者数は、感染拡大防止策をとりイベント等で集客した結果、第1四半期までは回復基調で推移しましたが、当第2四半期は2021年1月の緊急事態宣言によって大きく減少することとなりました。またライセンス関連については、ブランディングを通じてムーミンの国内市場拡大のための施策を展開しました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、メツァの来園者数が前年同期比で24.9%減となったものの、プライベートエクイティ投資において複数の案件が投資回収に至り、航空機アセットマネジメントも好調に推移した結果、売上高は4,874百万円（前年同期比14.2%増）となり、売上総利益は原価率の低い投資銀行事業の業務受託等の売上高が伸長したことにより2,384百万円（前年同期比83.2%増）となりました。販売費及び一般管理費は、前期からメツァをはじめとして全社的に費用削減を推進してきたことにより前年同期比14.1%減の1,543百万円だった結果、営業利益は840百万円（前年同期は495百万円の損失）、経常利益は831百万円（前年同期は560百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は618百万円（前年同期は581百万円の損失）となりました。

（単位：百万円）

	2020年9月期 第2四半期連結累計期間	2021年9月期 第2四半期連結累計期間	増減額
売上高	4,269	4,874	604
投資銀行事業	1,404	2,669	1,265
公共コンサルティング事業	126	118	△8
エンタテインメント・サービス事業	2,850	2,231	△618
消去	△111	△144	△33
売上総利益	1,301	2,384	1,083
投資銀行事業	719	1,991	1,272
公共コンサルティング事業	68	70	1
エンタテインメント・サービス事業	567	391	△175
消去	△53	△69	△15
営業利益又は営業損失（△）	△495	840	1,335
投資銀行事業	△35	1,322	1,357
公共コンサルティング事業	△13	△3	9
エンタテインメント・サービス事業	△160	△155	5
消去又は全社費用	△286	△323	△37
経常利益又は経常損失（△）	△560	831	1,391
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失（△）	△629	833	1,462
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△581	618	1,199

セグメント別の業績は以下のとおりです。なお、売上高についてはセグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

① 投資銀行事業

投資銀行事業では、事業承継などに関連する複数の業務を受託し、これらの案件へのプライベートエクイティ投資が回収に至りました。また、航空機アセットマネジメントにおいてコロナ禍の影響により金融機関や所有者（レッサー）から機体検査や機体返還などの技術サービス提供依頼が増加したことにより、売上高が増加しました。販売費及び一般管理費については、前期において漸次、人件費を中心に削減を進めたことにより、当第2四半期連結累計期間においても前年同期比で減少しました。

以上の結果、投資銀行事業の売上高は2,669百万円（前年同期比90.1%増）、セグメント利益は1,322百万円

(前年同期は35百万円の損失)となりました。

② 公共コンサルティング事業

公共コンサルティング事業では、公会計事業として地方公共団体に対する統一的な基準による財務書類作成のコンサルティング業務に加え、財務分析レポート作成や公営企業会計導入、経営戦略策定等の受託業務について、大規模自治体を軸に営業活動を推進しました。

また地方創生事業として市場拡大が見込まれるPPP/PFI手法の導入検討等の受託業務を推進しました。

公共コンサルティング事業の売上高は118百万円(前年同期比6.3%減)、セグメント損失は3百万円(前年同期は13百万円の損失)となりました。

③ エンタテインメント・サービス事業

エンタテインメント・サービス事業では、㈱ムーミン物語のムーミンバレーパークと㈱ライツ・アンド・ブランドズのムーミンのライセンス事業を両輪として、ムーミンのブランディングを通じた国内市場拡大によるライセンス収入の拡大を基本戦略として事業を推進しております。

ムーミンバレーパークを含むメツァでは、万全の感染拡大防止策をとったうえで、秋のイベント「ムーミンバレーパーク ハーベスト」、冬のイベント「ウインターワンダーランド」、そして2021年3月からは春のイベント「SPRING FESTIVAL」を開催するなど、各種イベント等により集客に努めました。この結果、来園者数は第1四半期に前期の第4四半期比で37.2%増の24万人と増加基調になったものの、当第2四半期は2回目の緊急事態宣言によって、2021年1月に大きく落ち込みました。来園者数は2月、3月に徐々に回復してきましたが、前第2四半期連結累計期間比では24.9%減となった結果、メツァ関連の売上高は前年同期比37.1%減の1,301百万円となりました。

ライセンス関連については、前期に緊急事態宣言により多くのイベントが中止に追い込まれ、ライセンシーの主要販路である大型商業施設等が2020年4月、5月に休業となったことで成長が一時的に鈍化しましたが、その後経済活動の再開とともに徐々に回復してきました。本事業では、ムーミンのブランディングのため、原画展「ムーミン展THE ART AND THE STORY」、コミックス展「ムーミンコミックス展」の全国巡回への協力や、コロナ禍によりイベント活動が制限される中でも、ライセンシーと協力して様々な企画を打ち出すなど活発に活動したことによって、売上高は前年同期比19.4%増の929百万円となり、コロナ禍前の水準を上回る成果となりました。

以上の結果、エンタテインメント・サービス事業の売上高は2,231百万円(前年同期比21.7%減)となりました。利益面については、メツァにおいて前期からコスト削減を推進していることにより、営業費用は20.7%減の2,386百万円となりましたが、売上高の減少をカバーするに至らず、155百万円のセグメント損失(前年同期は160百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 総資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末より5.1%増加し、17,430百万円となりました。これは主として、ムーミンバレーパークの建物、内外装等の減価償却等により有形固定資産が250百万円減少したものの、現金及び預金が436百万円、受取手形及び売掛金が669百万円、営業投資有価証券が100百万円増加したことによるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末より3.8%増加し、9,629百万円となりました。これは主として、短期借入金が42百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が75百万円、未払法人税等が131百万円、流動負債のその他に含まれる未払金が225百万円増加したことによるものであります。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末より6.8%増加し、7,800百万円となりました。これは主として、非支配株主持分が52百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が551百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2021年9月期(予想)	9,000	540	370	250
2020年9月期(実績)	6,841	△992	△1,135	△1,186
増減率	31.6%	—	—	—
増減額	2,158	1,532	1,505	1,436

2021年9月期の連結業績予想は上記の通りであり、2020年11月10日付の2020年9月期決算短信で公表した連結業績予想に変更はありません。

投資銀行事業は、当第2四半期連結累計期間にプライベートエクイティ投資案件などにおいて順調に組成が進んだことにより、各段階利益は通期業績予想を超過する高い進捗率となりましたが、今後も案件組成に向け、取り組みを進めております。また、その他の企業投資、アセット投資の回収も見込んでおります。

一方で、2021年4月から一部地域が再び緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の対象となっており、コロナ禍による今後のメツァへの影響は、不透明であります。メツァがある埼玉県飯能市は、現時点において緊急事態宣言等の対象外であるものの、今後も苦戦を強いられることも想定されることから、連結業績予想は据え置くことといたしました。

なお、連結業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,162,069	2,598,908
受取手形及び売掛金	564,724	1,234,217
営業投資有価証券	1,128,045	1,228,973
営業貸付金	514,798	471,584
販売用不動産	3,999,865	3,999,865
商品	257,591	210,423
その他	272,878	332,821
貸倒引当金	△96,718	△102,095
流動資産合計	8,803,255	9,974,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,372,766	5,383,803
減価償却累計額	△327,629	△425,345
建物及び構築物（純額）	5,045,136	4,958,457
その他	1,660,769	1,496,988
有形固定資産合計	6,705,906	6,455,446
無形固定資産		
のれん	137,969	134,757
その他	462,787	464,295
無形固定資産合計	600,756	599,053
投資その他の資産		
投資有価証券	145,711	72,307
長期貸付金	41,668	37,502
繰延税金資産	9,033	11,895
その他	277,438	279,283
貸倒引当金	△220	△78
投資その他の資産合計	473,630	400,909
固定資産合計	7,780,293	7,455,408
資産合計	16,583,548	17,430,107

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	109,597	185,123
短期借入金	69,701	26,800
1年内返済予定の長期借入金	615,111	576,945
未払法人税等	97,250	229,136
リース債務	222,578	226,445
賞与引当金	130,666	122,344
その他	1,088,523	1,470,439
流動負債合計	2,333,428	2,837,234
固定負債		
長期借入金	6,125,744	6,103,176
リース債務	581,872	467,673
繰延税金負債	96,324	77,417
退職給付に係る負債	108,259	110,883
その他	33,536	33,536
固定負債合計	6,945,738	6,792,687
負債合計	9,279,166	9,629,922
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,462,062	6,462,099
資本剰余金	5,016,132	4,994,549
利益剰余金	△5,183,778	△4,632,579
株主資本合計	6,294,416	6,824,069
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,380	4,608
為替換算調整勘定	△32,833	△18,636
その他の包括利益累計額合計	△36,213	△14,028
新株予約権	64,045	60,904
非支配株主持分	982,133	929,239
純資産合計	7,304,381	7,800,185
負債純資産合計	16,583,548	17,430,107

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年10月1日 至2021年3月31日)
売上高	4,269,822	4,874,665
売上原価	2,968,595	2,490,402
売上総利益	1,301,227	2,384,262
販売費及び一般管理費	1,796,335	1,543,450
営業利益又は営業損失(△)	△495,107	840,812
営業外収益		
受取利息	521	460
為替差益	6,985	—
持分法による投資利益	—	9,664
助成金収入	—	53,425
その他	1	2,231
営業外収益合計	7,508	65,780
営業外費用		
支払利息	68,823	58,369
持分法による投資損失	2,085	—
為替差損	—	15,521
支払手数料	1,500	546
その他	363	989
営業外費用合計	72,772	75,426
経常利益又は経常損失(△)	△560,371	831,166
特別利益		
固定資産売却益	1,185	—
新株予約権戻入益	4,486	3,108
その他	—	14
特別利益合計	5,672	3,123
特別損失		
固定資産除却損	899	801
出資金評価損	2,140	—
臨時休園による損失	71,787	—
関係会社株式評価損	—	320
特別損失合計	74,827	1,122
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△629,526	833,168
法人税、住民税及び事業税	55,223	235,203
法人税等調整額	△29,347	△22,019
法人税等合計	25,875	213,183
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△655,401	619,984
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△73,870	1,690
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△581,531	618,293

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△655,401	619,984
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,252	7,988
為替換算調整勘定	△1,315	24,015
その他の包括利益合計	△5,567	32,003
四半期包括利益	△660,969	651,988
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△586,526	640,479
非支配株主に係る四半期包括利益	△74,443	11,508

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

1 配当金支払額

該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症による影響に関する前提について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資銀行 事業	公共コンサル ティング事業	エンタテイン メント・サー ビス事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	1,301,931	120,770	2,847,120	4,269,822	—	4,269,822
セグメント間の 内部売上高又は 振替高(注) 3	102,457	6,000	2,929	111,387	△111,387	—
計	1,404,388	126,770	2,850,050	4,381,210	△111,387	4,269,822
セグメント損失(△)	△35,019	△13,138	△160,658	△208,817	△286,290	△495,107

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△286,290千円には、セグメント間取引消去119,167千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△405,457千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

3 「投資銀行事業」におけるセグメント間の内部売上高又は振替高には、「投資銀行事業」に属する当社が「エンタテインメント・サービス事業」に属する連結子会社である(株)ムーミン物語に賃貸するメッツァビレッジの賃料収入82,056千円が含まれております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資銀行 事業	公共コンサル ティング事業	エンタテイン メント・サー ビス事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	2,570,956	112,727	2,190,981	4,874,665	—	4,874,665
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	98,560	6,000	40,250	144,811	△144,811	—
計	2,669,516	118,727	2,231,232	5,019,476	△144,811	4,874,665
セグメント利益 又は損失(△)	1,322,505	△3,230	△155,078	1,164,195	△323,383	840,812

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△323,383千円には、セグメント間取引消去110,533千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△433,916千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。